

# 最先端・次世代研究開発支援プログラム 進捗状況ヒアリング及び現地調査実施要領

平成24年5月10日  
最先端・次世代研究開発支援プログラム  
進捗管理委員会

## 1. 目的

最先端・次世代研究開発支援プログラム（以下「プログラム」という。）の補助事業者（以下「研究者」という。）に対しヒアリング又は研究者の研究現場において質疑応答及び研究設備の視察等を行い、進捗状況をより詳細に把握することを目的とする。

## 2. 実施主体

最先端・次世代研究開発支援プログラム審査委員会委員経験者で構成する最先端・次世代研究開発支援プログラム進捗管理委員会（以下「委員会」という。）で実施し、必要に応じて委員会委員（以下「委員」という。）以外の学識経験者（以下「有識者」という。）の協力を得るものとする。

## 3. 対象

ヒアリング又は現地調査が必要と判断された研究者・研究課題を対象とする。

## 4. 参加者

[ヒアリング又は現地調査する側]

- ・委員（必要に応じて有識者が参加）
- ・プログラム事務局（同席）

[ヒアリング又は現地調査を受ける側]

- ・研究者
- ・当該研究課題に従事しているその他のメンバー（必要に応じて参加）※現地調査の場合のみ

## 5. 実施方法等

研究者より、事前に示す質問事項を中心に研究開発の進捗状況の詳細等についての説明を受けるとともに質疑応答等を行う。

### (1) 時間の配分の目安及び実施項目・内容

#### ① 研究者からの説明・質疑応答（60分程度）

委員は、研究者から、事前に提示した質問事項への回答について説明を受け、その内容を基に質疑応答を行う。

#### ② 研究現場・施設等の視察（30分程度）※現地調査の場合のみ

委員は、研究現場を視察し、研究環境等を調査する。

#### ③ その他、委員が必要と判断する事項

### (2) 使用する資料

- ・先端研究助成基金助成金（最先端・次世代研究開発支援プログラム）実施状況報告書（平成22年度）[様式19別紙1・2]
- ・同 実施状況報告書（平成23年度）[様式19別紙1・2]
- ・同 研究計画書[様式5、様式5別紙]及び研究課題別所見[採択通知時の指摘事項（改善すべき点等）]
- ・同 研究計画書（平成22・23年度）[様式7-1、様式7-1別紙]
- ・最先端・次世代研究開発支援プログラム進捗状況質問・回答票
- ・追加説明資料（研究者が特に使用する場合のみ）

## 6. ヒアリングを受ける研究者への注意事項

- (1) 研究者は、当該研究課題のヒアリング開始時間の15分前までにヒアリング会場に参集すること。
- (2) ヒアリング時に使用する追加説明資料（A4判サイズとする）がある場合は、プログラム事務局が指定する期日までに電子データを提出するとともに、ヒアリング当日に必要な部数を用意すること。プロジェクターやパソコン（Windows）の利用を希望する場合には、予め申し出ること。（詳細は別途通知する。）

## 7. その他

- ① 委員は、必要に応じて、再度、研究者に対し質疑応答を実施することができる。
- ② 委員は、「先端研究助成基金助成金（最先端・次世代研究開発支援プログラム）実施状況報告書」の内容精査、書面による事情聴取及びヒアリング又は現地調査を通じて確認した結果・所見案を作成し、委員会に報告する。

## 8. ヒアリング及び現地調査に係る事務担当

独立行政法人日本学術振興会研究事業部最先端研究助成課  
最先端・次世代研究開発支援プログラム(NEXTプログラム)事務局  
〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地 一番町FSビル3階  
電話：03-3263-0153, 1738  
ファックス：03-3237-8307  
Email：jisedai-jsps@jsps.go.jp